

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。 <https://jla-takarakuji.or.jp/>

公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト 2022年次報告書 / 令和4年12月発行



皆様のご寄付で森をつくっています

1000円で1本のポット苗を植えることができます。
一口1000円からのご支援をよろしくお願い申し上げます。

¥1000 = ポット苗 1本分

●口座振込みで寄付する

寄付金受領書発行のため、銀行振込にてご寄付の方は、メールかお電話で住所、お名前、電話番号をお知らせください。

口座名:公益財団法人鎮守の森のプロジェクト
三井住友銀行:本店営業部【普通】2502292
三菱UFJ銀行:新丸の内支店【普通】3150627
みずほ銀行:八重洲口支店【普通】2440176
郵便局:00120-4-548300
*青色の払込票をご使用ください。

●オンラインで寄付する

鎮守の森のプロジェクト公式ホームページからお申込みください。

www.morinoproject.com/donation
ご利用可能なクレジットカード

●相続財産からのご寄付

相続または遺贈により現金・預貯金を取得された方が、相続税の申告期限内（相続開始日の翌日から10ヶ月以内）に、その現金・預貯金を「公益財団法人鎮守の森のプロジェクト」へご寄付いただくと、ご寄付いただいた財産は相続税の課税対象となりません。

●香典からの寄付

お香典のお返しに代え、社会貢献のための寄付をしたいとお考えの場合は、いのちを守る森づくりに活用することができます。お香典返しに代えた寄付のお礼状は、当財団にてご用意しております。



公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-2 虎ノ門372ビル2階
TEL: 03-6432-0085 FAX: 03-6432-0086 URL: www.morinoproject.com



鎮守の森のプロジェクト 2022 年次報告書

[令和3年12月 - 令和4年11月]



設立10周年を迎えて

2012年に財団を立ち上げてから10年。あっという間の10年でした。

私は未曾有の東日本大震災の後、各界の友人・知人に集ってもらい「何が出来るか、何をしなければならないか」という議論をしました。実際に被災地に支援物資を届けたりもしました。それでも何か物足りないものがありました。

震災後一年が経とうとしていたころ旧知の宮脇昭先生の「緑の防潮堤」構想を知りました。問題になっていた震災瓦礫^{がれき}を活用してコンクリートではない緑を使った防潮堤の構想は斬新で、被災地復興のボランティアに参集してもらうためにも素晴らしい提案であると直感しました。すぐに電話を取り面会を求めました。熊本県知事時代以来の再会は2012年3月5日のことです。財団パンフレット片隅に私と握手をしている写真があります。その日から一気呵成に組織作りが始まり、5月25日には日本記者クラブで設立総会、記者発表の後正式に発足したのは「一般財団法人瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」で7月6日のことでした。

その年の「どんぐり拾い」から活動が始まり、岩沼市の「千年希望の丘」、南相馬市の「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」など被災地で大規模な植樹活動を行ってきました。昨年残念ながら亡くなられた宮脇昭先生には副理事長に就任頂き、ともに木を植えた写真が何枚もあります。設立後4年が経過した段階で、震災瓦礫は無くなり、活動地域を全国に広げるために現在の「公益財団法人鎮守の森のプロジェクト」に名称を変更しました。活動範囲も高知県南国市、三重県明和町、大阪府阪南市などに広がり、植樹の目的も広く「災害からいのちを守る森」となりました。

私たちは鎮守の森をモデルに災害に強い森づくりを進めています。どんな小さな場所でも木を植えるための相談には喜んで駆けつける所存です。災害列島の上に住む私たちの“いのちを守る森”づくりに、なお一層のご理解とご協力を切にお願いいたします。



2012年3月5日 再会

公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト

理事長 細川 護 悠

最も大事なものは、それはいのちです。

あの日、私たちは当然のこととして忘れていた自分のいのちの尊さ、素晴らしさ、輝かしさ、そしてはかなさに気付かされました。

私たちの生活は今、発展した科学・技術の恩恵を受け、人類の歴史上、物質的には最も恵まれているはずですが。

しかし、人間が無自覚に傲慢にふるまっていたとき、あらゆる人間の予測値を打ち破り、瞬間的に二万人近い人のいのちを失わせました。

今こそ私たちは、もう一度、自然の一員としての人間にとっていかに大事なものは何であるかを、突き詰めて考えなければなりません。

私たちは日々、いのちの本質とは直接かわりのない物やお金、エネルギーなどにこだわって、せせこましく生きているのです。

植物生態学者 (二〇二二年永眠)

宮脇 昭

メッセージは、著書『「森の長城」が日本を救う』河出書房新社出版より抜粋



植樹地の経過報告

私たちの「森づくり」は今から約9年半前の2013年5月2日、仙台市荒浜から始まりました。東北の復興、また財団の行く先も見えない手探りの中、3500本の苗木をボランティアの皆さんと植えた感動は、今でも忘れられない大切な思い出です。多くの人々・企業・団体の支援に助けられ、地にいのちを宿した苗木たちとともに、財団の活動も成長していきます。そして現在、被災した家屋や瓦礫の山であった被災地は、たくましく復興していきま^{がれき}した。植樹活動でも岩沼市(宮城)には、およそ10キロの海岸線に森の防潮堤が完成しました。さらに全国各地では「災害からのちを守る森」が広がっています。植えた苗木たちも、中には樹高8mほどの木々も見られ、どんぐりや木の実が落ち、さらに新たな命も生まれ始めています。そしてさまざまな虫や鳥たちの住処^{すみか}にもなっています。ここでは財団が設立されて10年の節目に、これまでを振り返り、成長した森の経過を報告していきます。

沿岸は海風が強く、そして東北の冬は寒い。しかし、厳しい環境に耐えながらも樹高8mへと成長した木々があります。「8m」それは、ここ岩沼市沿岸に押し寄せた津波の水位です。

2号丘
(避難丘)

慰霊碑
高さ8m

千年希望の丘
相野釜公園

植樹から9年経過

写真

1号丘
(避難丘)

植樹から8年経過



木札に願いを書き込み、植えた苗木に添えました。



防災公園「千年希望の丘」 植樹祭は最終章を迎えました

宮城県岩沼市の被災沿岸部に整備された防災公園「千年希望の丘」では、2013年から9年にわたり約337,000本の苗木を、のべ39,000名のボランティアの手で植え、「森の防潮堤」づくりを行ってきました。この事業も今年が最終章となり、大規模な植樹祭は終わりました。今後は園路の接続部分などを小規模に整備する予定です。ファイナル植樹祭となった開会式では、財団の細川理事長から菊地市長へ「337,000本」と書かれた記念プレート³³⁷⁰⁰⁰を贈呈しました。苗木は1本植えるのにおよそ1,000円かかるので、3億円以上の事業となったことがわかります。事業費はすべて皆さまからのご寄付で賄いました。



細川理事長から岩沼市長へ記念プレートの贈呈。





サッカー少年少女達と植樹祭 津波浸水域のサッカー場

津波浸水域である「相馬光陽サッカー場」の施設周囲に植樹をしました。あれから7年。苗木は、一緒に植えたサッカー少年少女たちの背丈をはるかに追い越して生長しました。



2015 → 2022



7-year-old-forest

大津波、台風被害を乗り越えて 防災緑地を整えました

「岩手県山田町田の浜地区では、住人の約10人に1人が津波によりお亡くなりになりました。その場所に、津波被害を和らげるための「緑の防潮堤」を植えてつくることは、大変意義のあることだと思っています。」と山田町長は語ります。この植樹地は、2019年に植樹を終えましたが、その年の台風19号で発生した山津波（土砂ずれ）で、その3割程度を流出し、また住宅街にも被害がありました。今年は、その植樹区画を復旧する植樹祭を開催しました。



山田町長



2018 → 2022



4-year-old-forest

今年は、どんぐりや栗の実も成りました。



南相馬の植樹祭は10回目の節目を迎え 今後も開催する予定です



福島県「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」は震災後の2013年からスタートし、今年で10回目となりましたが、実は、同市では、宮脇方式による植生調査は震災の30年以上前から、植樹は震災の20年ほど前から少しずつ行われていました。

南相馬市長は「震災では636名の方が亡くなりました。市では慰霊のために、そして津波の教訓を絶対忘れないために、そして現実的にこの津波から命を守る森をつくるそのために開催しています。地元の広葉樹を混ぜて植えてきました。来年以降もまだまだ続けます。こうした活動を続け、後世に子ども達に命の大切さを伝えていけたらと思います。参加者の皆さまに感謝申し上げます。」と今年の開会式で挨拶されました。

植樹祭を盛り上げるために駆けつけてくれたルー大柴さん(右)と南相馬市長(左)

※2013年の植樹地は現在立入りが難しいので、撮影でき次第またご報告します。



2015 → 2022

7-year-old-forest

南相馬市の森の防潮堤は
南北約7.8kmほどの
長さになりました。

植樹から
6年経過

植樹から
7年経過

写真



財団初、南海トラフ地震に備える森づくり

東北地方以外で初めての植樹祭を開催したのは高知県南国市の大湊小学校と保育所でした。この地域は、南海トラフ地震による津波が想定されており、津波避難タワーがいくつも建つ地域です。防災教育の一環として、児童や園児らとともに木が植えられました。



2016 → 2022

6-year-old-forest



松枯れの防風林を常緑樹の森へ

三重県明和町の松の海岸林は、マツクイムシ被害に悩まされておりました。そこで、松が枯れて疎林になったスポットに常緑樹を植えてゆき、津波減災+松枯れ対策の取り組みを始めました。



2018 → 2022

4-year-old-forest



大阪の子ども達と、防災+自然教育

大阪府阪南市や岬町の子ども達と共に、地震や津波、そして減災としての木々の役割について事前に学びました。そして、実際に自身の通う学校やこども園に木を植えました。



阪南市 尾崎小学校

2019 → 2022

3-year-old-forest

Annual Event 2022

これまでに、570,514本の木を62,279人の手で植えました。

植樹祭

2022年の植樹本数 **33,933本**
参加人数 **2,557人**

2022年5月21日

宮城県岩沼市 / 第10回千年希望の丘植樹祭(ファイナル植樹祭)
植樹本数10,000本 / 参加人数850人

2022年6月5日

福島県南相馬市 / 第10回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭
植樹本数18,000本 / 参加人数1,000人

2022年7月16日

宮城県岩沼市 / 第1回宮脇昭記念植樹祭
植樹本数500本 / 参加人数28人

2022年8月28日

岩手県山田町 / 津波からいのちを守る森づくり
植樹本数2,000本 / 参加人数220人

2022年10月29日

大阪府阪南市森のあるこども園飛鳥ゆめ学舎
/ 阪南市いのちを守る植樹祭
植樹本数3,000本 / 参加人数330名(園児含)



育樹(草抜き)

2022年7月16日

宮城県岩沼市藤曾根 / 参加人数28人

どんぐり・低木の実採種ツアー

2022年11月5日

仙台近郊(大崎八幡宮→青葉神社→志波彦神社鹽竈神社
→千年希望の丘相野釜公園 / 参加人数49人

その土地に適した苗木を用意するために、植樹地の近くで自生している種子(主にどんぐり)を採種し、苗木に育て、植樹しています。どんぐりから植樹する苗木になるまでは2~3年かかります。育てられたポット苗は、植樹祭で「いのちを守る森」として植えられます。



鎮守の森の教室(ポット苗講習会)

2021年12月4日

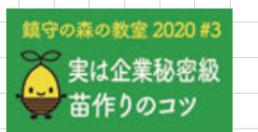
千葉県君津市園場 / 参加人数47人

当財団は、財団副理事長 宮脇昭博士(2021年7月逝去)考案による生物学的な植樹方法で「災害からいのちを守る森」づくりを行なっています。約半世紀をかけて試行錯誤を重ね構築されたこの技術は、近年、海外からの注目が高まっており、SNSなどでは#miyawaki method というハッシュタグで検索することができます。「鎮守の森の教室」では、いわゆる「宮脇方式(miyawaki method)」の森づくりについて理解を深めていただくため、毎年11月下旬~12月上旬頃に開催しています。

随時配信中!
チャンネル登録
してね!

YouTube

チャンネル名: 鎮守の森のプロジェクト



こんな応援をしていただきました

鎮守の森のプロジェクトでは、それぞれ法人さまの業務特性を活かして応援していただいています。今年、コミュニティポイントを活用したご寄付や日本国内の団体に助成するのは初めてというアメリカ法人、またご寄付の枠を超えて植樹祭を企画して下さった企業をご紹介します。



「いろんなひとを、津波から守りたい」

AIG損害保険株式会社

同社は、当財団を支援する植樹事業への参画を拡大し、AIGジャパン・ホールディングス株式会社と大阪府との防災連携協定に基づき「いのちを守る植樹祭」を開催しました。

大阪府では過去3回植樹祭が実現し、今年は阪南市にある「森のあるこども園飛鳥ゆめ学舎」にて3000本の木を園児と共に植えました。これは、大阪湾沿岸に位置する園の敷地(市有地)を活用した、南海トラフ大地震に備える森の防潮堤づくりです。大阪府副知事や阪南市長、AIG社員の皆さまはじめ、同社のナッシュ代表取締役社長兼CEOも参加してくれました。

園の子どもたちは、地震と津波そして森づくりの役割について事前に学び、それぞれが植える木への願いを書いてきてくれました。

苗木の贈呈→



株式会社ヤママップ

登山地図GPSアプリ「YAMAP」を手掛ける「株式会社ヤママップ」が展開する、循環型コミュニティポイント「DOMO」を活用した寄付で、苗木代を提供していただきました。

「DOMO」は、活動日記の投稿など、他の登山者に役立つアクションをすると付与されるポイントで、山の環境整備や森の再生など様々な支援活動に使われています。今回、のべ8,317名からご支援いただいたDOMOポイントを活用させていただき、昨年10月の「第9回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」にて、2,000本の苗木が植えられました。

←支援を呼びかけるWEBページ

パーカー・ハネフィン財団



アメリカの産業用部品・装置をてがける「パーカー・ハネフィン社」が1953年に設立した「パーカー・ハネフィン財団」は、教育、医療などさまざまな団体をサポートしています。今回、Japan Parker(関連日本法人:パーカー・ハネフィン日本株式会社、株式会社TAIYO、ロード・ジャパン・インク)より内申をいただき、審査を経て、今年の植樹活動の資金として、苗木2415本分の助成金をいただきました。尚、同財団より助成されるのは、日本国内では初めてのこととなります。

多大なご支援をいただいている企業・団体・個人の方々

(2021年7月1日~2022年6月30日)

<p>AIG 損害保険 AIG損害保険株式会社</p>	<p>AEON Environmental Foundation 公益財団法人イオン環境財団</p>	<p>「生きる」を創る。 Aflac アフラック生命保険株式会社</p>
<p>MIRARTHホールディングス Takara Leben 株式会社タカラレーベン</p>	<p>FANCL 正直品質。 株式会社ファンケル</p>	<p>FUJIKURA COMPOSITES 藤倉コンポジット株式会社</p>
<p>CTC Challenging Tomorrow's Changes 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社</p>	<p>MS&AD 三井住友海上あいおい生命 三井住友海上あいおい生命保険株式会社</p>	<p>東京証券株式会社</p>

※順不同・敬称略

- 小山恵美子 / 全国FM放送協議会 株式会社エフエム東京 / 児玉末 / 有限会社フィセル / 島村楽器株式会社 / 株式会社LOSA
 アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 / 公益財団法人夢&環境支援宮崎記念基金 / 東京ロータリークラブ / 高山美紀 / 高山知子
 株式会社ベガコーポレーション / GPSSホールディングス株式会社 / 株式会社地熱開発 / 株式会社ティーレックス / タナカホマレ
 FPTジャパンホールディングス株式会社 / まずるか北海道 / 株式会社マイクロ・テクニカ / カンパネ株式会社 / 株式会社エムアイカード
 ナカモリリツコ / 山形開発工業株式会社 / ボックスチャーター株式会社 / 栄治産業株式会社 / 仁科 潔 / 株式会社ベルカディア
 クリスタ長堀会 / 西野忠同 Nino / 宗教法人日蓮宗修昌山 法性寺 / 荒井公認会計士事務所 / 株式会社トライメイト / 眞柳佳昭
 山田昭広 / 中島千代子 / 小沼芳子 / 小林三雄 / 他、多数

※順不同・敬称略

決算概要

(2021年7月1日~2022年6月30日)

[収入の部]			[支出の部]		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
寄付金収入	66,385	1,951件	事業費	80,396	
助成金収入	1,525	日本宝くじ協会、 夢&環境支援宮崎記念基金	1.森の防潮堤創造事業費	78,666	植樹祭、育樹祭他
雑収入	49	利息等	2.ポット苗木事業費	1,399	どんぐり採種・育苗講習会他
前年度繰越金	318,052	令和2年度より	3.情報提供事業費	331	広報・宣伝費
収入合計(A)	386,011		管理費	2,172	事務経費他
			支出合計(B)	82,568	
			次年度繰越金(A-B)	303,443	